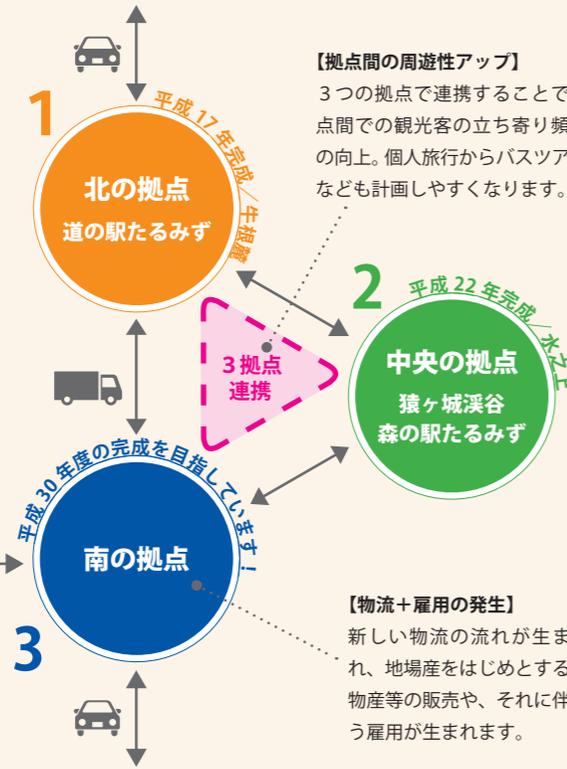


南の拠点のキーパーソン



迫田 和文
(さこだかずみ)
垂水市企画政策課主査。
南の拠点づくり担当者の一人。



キーパーソンに聞く

なんのために南の拠点を
作るのか？

Answer

観光・雇用等を
生み出し、経済
の活性化を図る
ためです。

Discover Tarumizu, Branding Local Communities
—不定期連載—
南の拠点
の軌跡を追う

新しいモノや発見は、人や街にこれまでに無かった活力や潤いをもたらしてくれます。まちの活性化には、「新しいモノを生み出すこと」と「それに関わる人の情熱」が必要不可欠です。今月から、地方創生における「新たな拠点づくり」について、お知らせしてまいります。

第1回

新たに挑む
魅力ある
拠点づくり。

全国で展開される地方創生の動き。
そんな中、垂水市では、
通称「南の拠点」と呼ぶ、
新たな拠点づくりを進めています。

浜平地区

別館江洋館から
給食センターの間
国道220号から
海側で計画。

◆現在進めている新しい魅力拠点づくり「南の拠点」の基本構想イメージ①（初期イメージ）



経済の活性化を図る

では、なぜ南の拠点を
作る必要があるのでしょうか。
ポインタは、地方創生にありま
す。国は、人口減少の克服と

地方創生のため、「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、総合戦略を策定しました。これにより、自治体では、地域の魅力を活かした計画を作ることが努力義務とされました。

迫田「人口減少は、地域の経済活動の衰退や労働力不足を招きます。垂水市では、この状況を打破するため、南の拠点を整備し、『観光』と『雇用・人材育成』による経済活性化を図ります。観光による経済活性化とは、北の拠点、中央の拠点と連携し、周遊性（観光客の立ち寄り頻度の向上）を高め、交流人口を増やすことです。雇用・人材育成による経済の活性化とは、特産品のブランド力向上や広告宣伝・人材育成等を行う機能を整備し、雇用や創造を促進し、市全体の「稼ぐ力」の向上を図るものです。これらの取組により国と地方が抱える課題の打破を図ろうと考えています。」